

バックモニター用リバーズ連動ユニット 取付説明書

【取付手順】

- ① ユニットから出ている青線をリバーズ信号線(AT もしくは MT をリバーズにシフトした際に+12V となる線)にエレクトロタップなどを用いて接続する。
- ② ユニットから出ている黒線をクワ型端子などでボディアースに接続する。
- ③ ユニットから出ている割り込み用カプラーをナビコンピューターと車両配線の間割り込ませる。
- ④ ユニットの RCA 端子にバックカメラからの映像信号を接続する。

以上で取付は完了です。

EMV を地図画面にし、リバーズにシフトして映像が切り替わることをご確認ください。

(AT 車用の対策としてディレイ回路を内蔵しています。リバーズにシフトしてから 0.5~1 秒程度経過の後に映像が切り替わります。)

【注意点】

取付に際しては安全のためにバッテリーのマイナス端子を外して作業することをおすすめします。また本商品は防水対策を施しておりませんので、水に濡れるような場所への取付はできません。

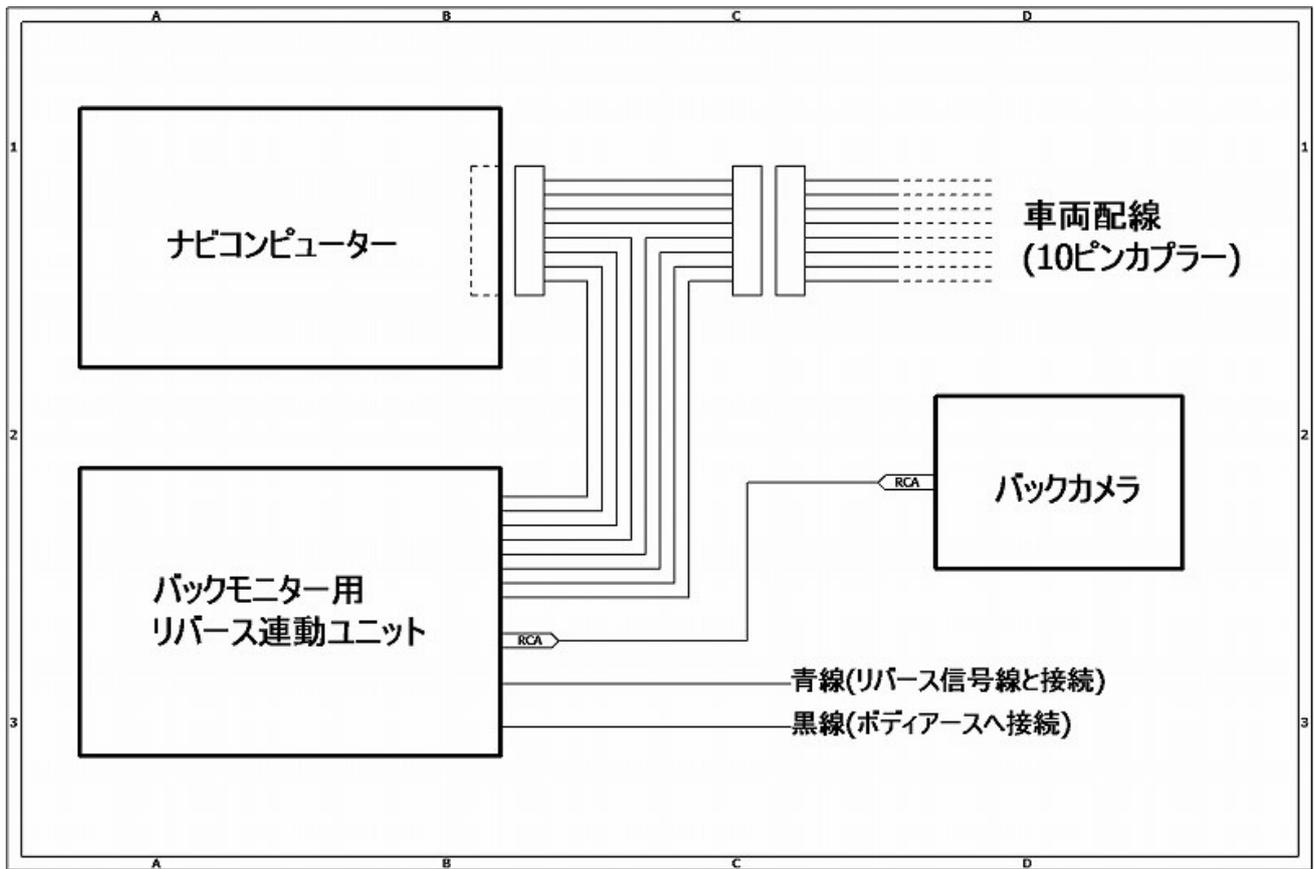
エレクトロタップは接触不良が起こる場合があります。配線の太さに合ったエレクトロタップを使用してください。

その他、作業の際の怪我等には十分ご注意ください。

【うまく映像が出ない場合】

- ・ 画面が切り替わらない場合
⇒「リバーズ信号線」「アース線」の接続をご確認ください。
- ・ 画面が切り替わるがカメラ映像が表示されない場合
⇒RCA 入力部分の接続をご確認ください。

【取付概略図】



- ※ 本ユニットはナビコンピューターへと接続します。EMV(モニター)に接続した場合、正常に映像が表示されませんのでご注意ください。
- ※ RCA ケーブルはカメラ取付位置と本商品設置位置との距離に合わせて別途ご用意ください。

【参考資料】

本商品の取付位置(ナビコンピューター周辺)で、最寄りのリバーズ信号線はナビコンピューターへの入力信号線となります。

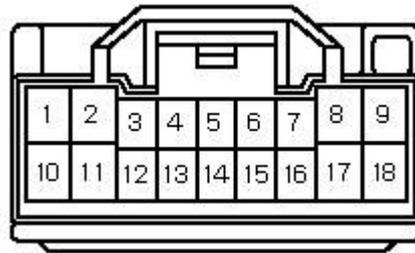


図 1

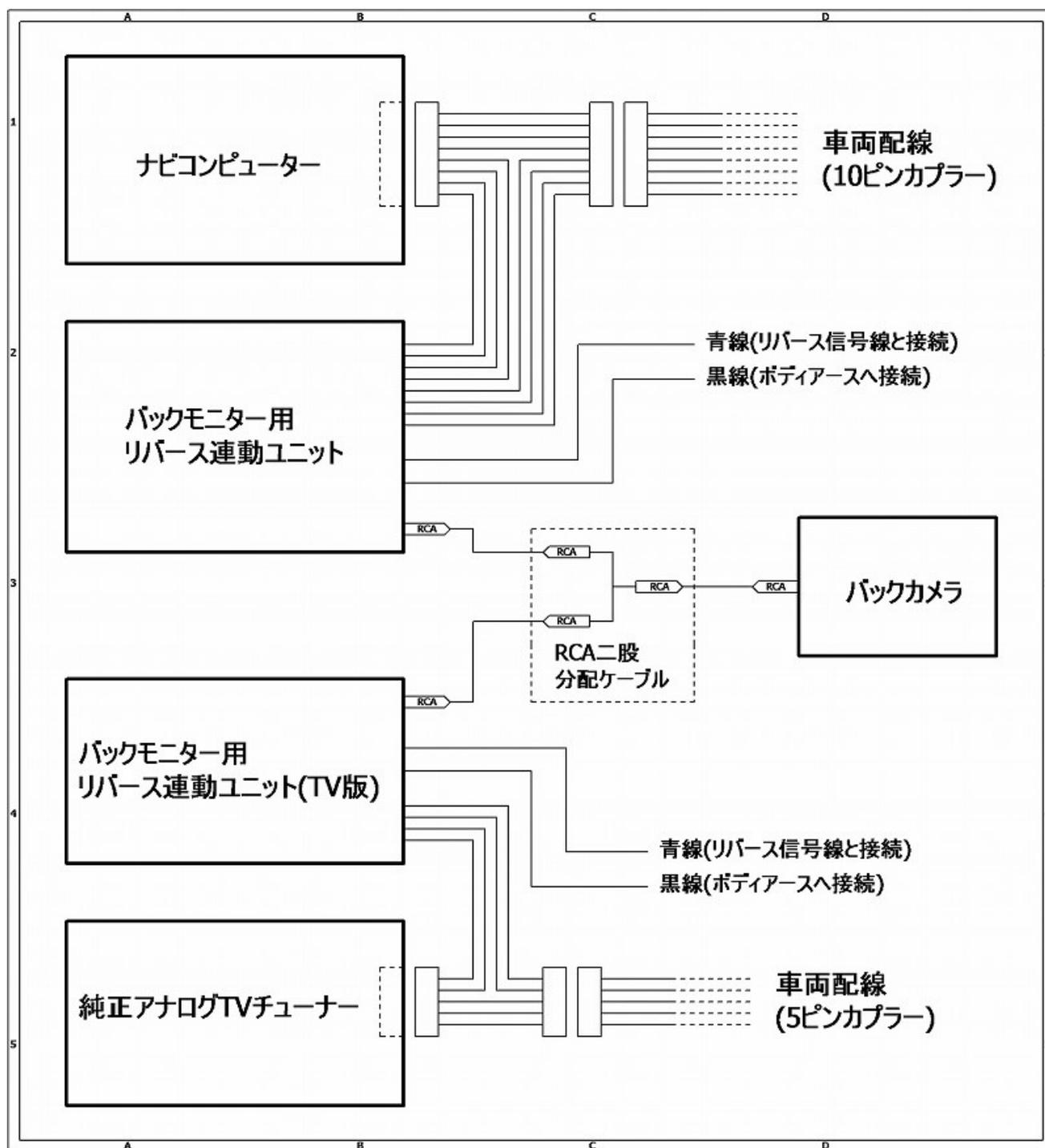
上記「図 1」のケーブルがナビコンピューターに接続されています。

このコネクターの「14」がリバーズ信号線になります。

(14番は左右どちらから数えてもちょうど真ん中になります)

- ※ この信号線を利用する際は、必ずテスター等で「リバーズにシフトした際に+12V となること」をご確認ください。
- ※ 確認の際にはイグニッションを ON の状態で行ってください。ACC では+12V が印加されない仕組みになっております。
- ※ 一部車両(170系クラウンや30系セルシオなど)で、この信号線からリバーズ信号を取り出してもうまく動作しないケースが確認されています。その場合は他の箇所からリバーズ信号を取り出してください。
(一番確実な取り出し場所はバックランプへの配線です)

【バックモニター用リバーズ連動ユニット(TV版)との同時取付の場合】



上記概略図のようにバックカメラからの RCA 映像信号を二股分配ケーブルで分けた後、各ユニットの RCA 端子に接続してください。